

経営比較分析表（令和3年度決算）

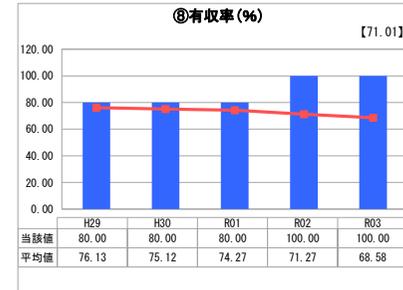
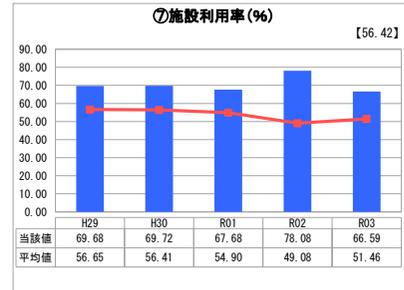
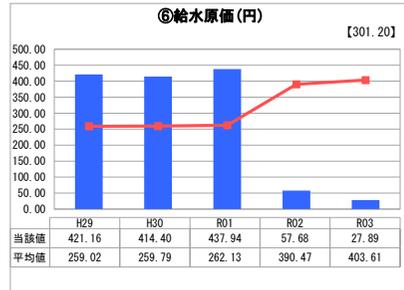
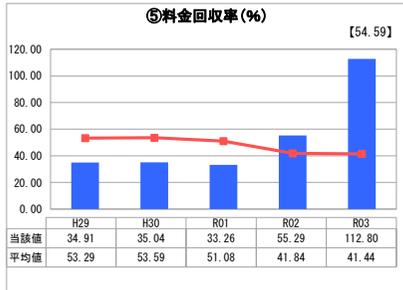
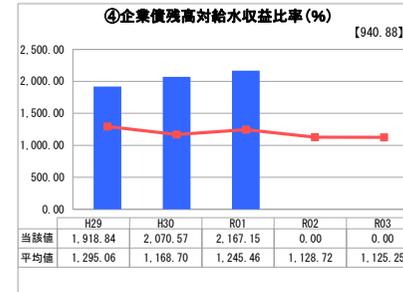
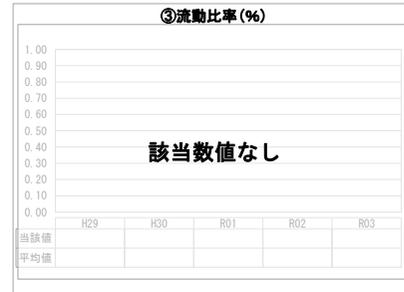
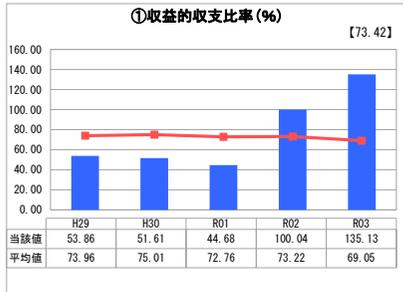
熊本県 山都町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	81.59	400	

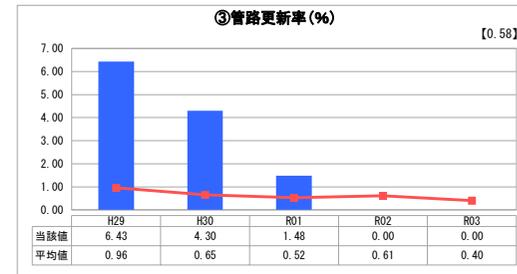
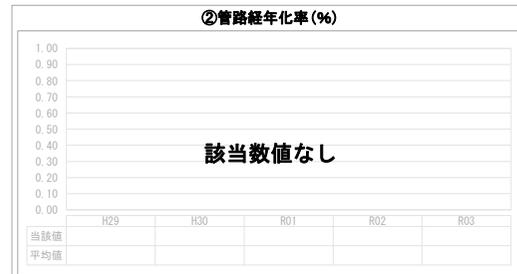
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,966	544.67	25.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
492	2.86	172.03

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度に簡易水道事業が水道事業に統合したことにより、各数値は大きく増減している。適正な使用料の確保、維持管理費用の削減により、収益的収支比率、料金回収率ともに100%を超えている。収益で費用を賄うことができている状況であり、経営は安定している。

また、上記の水道事業への統合により、簡易事業規模が縮小したことで、利用している施設が更新後であることから有収率が高く、経常費用が減少し給水原価が抑えられたことで料金回収率が上昇している。

今後、人口減少による給水収益の低下が見込まれるため、水道料金改定を将来的に検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成9年度から平成16年度にかけて、水道施設の整備を実施しているが、老朽化は少しずつ進んでいくため、施設更新について、長期的な資金計画等により将来に備える必要がある。

全体総括

令和2年4月の水道事業統合に伴い、山都町の設置する簡易水道事業の給水区域は大矢野原地区簡易水道事業のみとなった。

経営状況は良好であり、今後も地元組合と連携し、経営基盤の強化に努めていく。